

東京都 吉田塾

# 代表 吉田 昭久さん

やれと言われたことはできるのに、  
どれだけ必死で考えても、  
自分の研究テーマが思いつかない。  
いま思えば、あの経験が  
スタートだったのかも。  
すべての子どもが自分の意思で  
主体的に学べるようになってほしい。  
目指すは「塾なき世界」だ。

## 偶然当選した航空券が 人生の転換ポイントに

「最初は『これで夏休みの  
予定ができた!』という程  
度だったんですよ」。吉田  
昭久(40)はそう言って笑  
う。大学2年のとき、たま  
たま参加した留学フェア  
で、オーストラリアへの無  
料航空券が当たってしまった

ただ。

完全に旅行気分で渡航プ  
ランを練ったが、そもそも  
これは留学のための航空券  
だ。「主催者側から怒られ  
てしまつて。『何のために  
行かせると思ってるんだ!  
向こうの大学をしっかりと見

てきなさい!』と(笑)。

正直、面倒くさかったが  
とりあえず言われたとおり  
見学に行くことにした吉  
田。ところが、そこで見た  
ものは、自分が知っている  
“大学”ではなかった。海

外の大学ではよく見かける  
ケースだが、広大な敷地で、  
一つの街がまるまるキャン  
パスのような作りになって  
いたのだ。学生専用のマー  
ケットや映画館まであっ  
た。「それで、オーストラ

リアでこれなら、アメリカ  
はもつとすごいのでは!と  
思つて。それで飛び出し  
ちゃった感じです」。  
ニューヨーク市立大に転  
籍し、そのままアメリカで  
大学院へも進学した。

## やれと言われたことはできるが、 自分のやりたいことがない

経歴さえも冗談めかして  
軽妙に語るほど気さくな性  
格の吉田だが、客観的に見  
ればそのキャリアは素晴らしい。  
卒業したニューヨーク  
市立大や同地の中学校で  
も教鞭を取りながら、大学  
院で研究者を目指した。

なくて。仲間の研究テーマ  
を見ては『よくこんなこと  
思いつくな』と感心するば  
かりでした」。結局、最後  
まで自身の研究対象を見つ  
けることができず、帰国の  
途についた。  
帰国後は「妹に『とりあ  
えずハローワークに行け』  
と言われまして。そこで紹  
介されたのが学習塾で、面  
接を受けたらあっさり採用  
されちゃったと言つか。そ  
んなノリで就職したんで  
す」となおも笑う。

「でも、独立した一番の理  
由はそこではありません」  
と吉田。「ICTにせよ、  
ユニークな教材にせよ、試  
してみたい新しいコンテン  
ツがたくさんあるのに、一  
介の社員にはその決定権は  
なくて。よしんば使ってみ  
ようとなつても、稟議書だ  
の何だのと時間のかかるこ  
とばかり。それならいつ  
そ、自分でやろうと」。

その姿勢は、生徒に対し  
ても表れている。「とにかく  
く、自分で決めて、自分で  
動ける子を育てたいです。  
勉強をきっかけにして、ス  
ポーツでも趣味でも、自分  
が好きなことをして生きら  
れる人になつて欲しいです  
ね」。終始、笑いを織り交  
ぜながら話していた吉田だ  
が、そこだけは  
口調が変わつ  
た。もしかした  
らそれは、研究  
の道で主体を発  
揮できなかった  
悔恨だったのか  
もしれない。

の夢は、失業すること」。  
戦争なき世界を願った名言  
だ。吉田の夢も、すべての  
子どもたちが主体的に学ぶ  
ようになり、「塾を必要と  
しない世界」だと言つ。  
(敬称略)

# 塾が必要ない世界を夢見て 自分の人生を生きる子どもを育てたい

吉田 昭久 AKIHISA YOSHIDA



●吉田塾  
<https://yoshida.school/>

1981年生まれ、愛知県出身。  
ニューヨーク市立大学卒業  
後、同大や米国内の中学校で  
教鞭を取りながら研究者を目  
指すも、やりたいことを見出  
せず帰国。中学受験塾などで  
経験を積んだのち、独立した。  
かつて自身が研究に主体性  
を見出せなかった経験から、「自  
分で決め、自分でやることをモ  
ットーとする」。

文/松見敬彦(トリガーワークス)